



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Build The Future with Action and Vision

築け未来を行動力と先見の眼で

1996~97年度・国際ロータリーのテーマ/ルイス・ピセンテ・ジアイ会長

◎本日の例会 回卓話「スペインと日本」

2月7日/第497回例会

スペイン大使館商務部常任顧問 沢木忠男氏

◎先週報告

1月31日/第496回例会



小林照子氏

回卓話「男のおしゃれ」

美・ファイン研究所代表 ザ・ベストメイキャップ・スクール校長 小林照子氏

回幹事報告 2月定例理事会を次週例会後開催いたします。

回国際奉仕委員会(四分一委員長) 米山奨学会への寄付について

今年度当クラブでは米山奨学会特別寄付目標を米山功労者2名、準功労者5名と致しましたが、現在米山功労者1名、準功労者1名になっております。是非会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。準功労者制度の活用も心掛けて下さい。

回青少年交換委員会(梶内カウンセラー)

オーストラリア(D9750) Sydneyに留学中の派遣青少年交換学生・塩屋未来さんの帰国日が決まりました。

3月23日(日)10:30, Sydney発JL772/B→23日(日)18:00 成田着

回ソングリーダー委員会(山下委員) 今年1月31日は、フランツ・シューベルト生誕200年に当たりますので、紹介させていただきます。

シューベルトは、1797年の1月31日にウィーン郊外で生まれ、ベートーヴェンが死んだ翌年1828年11月19日、31才という若さで世を去りました。

31年という短い生涯でしたが、皆さんご存じの交響曲第8番「未完成」や、歌曲集「冬の旅」その他数多くの名曲を残しております。今日はシューベルトのピアノ曲のうちのいくつかを当クラブのピアニスト 泉さんの名演奏でお楽しみいただきます。

回出席報告●会員67名・出席49名・欠席18名(出席規定免除者3名)

ビジター(7名 敬称略・順不同)/細谷義徳(東京日本橋西RC)、藤野 徹(東京銀座)、竹下浩二(東京芝RC)、VAUBEL(ファウベル)、長谷部信一、神通豊、西山 巖(以上 東京南RC)。

ゲスト 竹林哲也氏(西山 巖氏ゲスト)



順不同・敬称略

1月31日/11件32,000円

本年度累計 1,684,770円

多額のご寄付を有難うございました。

小波雅亮/小林照子先生お忙しいところを本当に有難うございました。柴田尚毅/バッヂをうっかり忘れました。鈴木重徳/斉藤さん、IMのビデオテープ有難うございました。横山秀明/なんとなく。島田昌雄/山下委員長、山中さん色々お世話になりありがとうございました。相澤成憲/2月の会報担当です。皆様のご協力をお願いします。岩瀬秀郎/先週の協議会を欠席しました。宮川弘信/2月2日に入会満一年になります。その間皆様からのご指導ありがとうございました。カウンセラーの四分一様ご苦労さまでした。宮武保義/石坂さん先日は大変お世話になりました。小杉眞史/1月28日ロータリー新人セミナーに出させていただきます、ガバナー、パストガバナーのお話を拝聴しました。加藤昌明/ニコニコ担当です。

回お願い

「ワンモアポスト」今年も継続中!

使用済みの切手、書損じハガキ、使用済みテレホンカードの収集を今年度も引き続き行なっております。使用済みの切手、書損じハガキ、使用済みテレホンカード等は港区社会福祉協議会を通じ、販売、換金されその純益は区内福祉団体の支援の一助となっております。

「ワンモアポスト」へのご協力をお願いします。

(社会奉仕委員会)

◎次週予告

2月14日
第498回例会

回卓話予定 「外国銀行のプライベート利用法」

ラザードジャパン・アセットマネジメント(株)

プライベート・バンキング・ディレクター

Mr. STEPHEN CHURCH

世界理解月間にあたって

第2750地区研修リーダー

丸山 宏 パストガバナー

青少年交換学生のうち1996年1月来日学生の修了証授与式と歓送会が今年も日本青年館で、12月21日(土)盛大に開催されました。

月日の流れは早いもので、あっという間に1年が過ぎ、数々の思い出をもって1997年1月早々学生達は懐かしの母国に帰っていきました。私は今年も来日学生達の修了スピーチを聴き、感動いたしました。

一年で日本語が上手になっているのには、いつも感心させられますが、18-19歳の感受性豊かな子供達が見ず知らずの国にきて、不安と希望に胸をどきどきさせ乍ら元気で勉強に励み、体験した事を全員晴ればれとした気持で存分に話してくれました。母国では味わえなかった異国での体験は、子供達に強烈な印象を与えたようでした。

沢山の友人とホストファミリーのお父さん、お母さん始め、多くの方々とのすばらしい人間関係の中で、活動できた事を涙を流し声をつまらせ乍らお礼を言ってくれました。

そして、全員が日本を好きになり、もう一度日本に帰ってきたいと異口同音に話してくれました。青少年交換は、真に、月間に相応しい事業です。

2月は“世界理解月間”です。

この月間中クラブは世界平和に不可欠なものとして、国際理解と友好親善を強調するプログラムと活動を実施する事、また世界社会奉仕を中心としたプログラムを行う様奨励されています。

2月23日(1905年)はロータリーの創立記念日であり「世界理解と平和の日」として遵守されています。

そして、2月23日から3月1日の一週間は「世界理解と平和の週間」としての献身を認識し、それを推進する行事を行う様要請されています。

ブラウン直前会長は、それに加えて2月に家族週間を設けられました。

本年度2月10日から16日を家族週間とし、ロータリアンが健全な家庭をつくり、幸せな家庭のための行事を行うよう提言されました。

この様に2月には盛り沢山の行事が組まれており、各クラブで構想を練って頂いて、この月の行事が意義あるものとして実施されます事をお願い致します。

——「ガバナー月信」第8信(9.2.1)より

ポール・ハリス(1868~1947)の生涯

2月23日のロータリー創立記念日にちなんで

世界で最初で最も国際的な奉仕クラブであるロータリーの創始者ポール・P・ハリスは1868年4月19日、米国ウィスコンシン州に生まれ、アイオワ大学から法学士の学位を、バーモント大学から名誉法学博士の称号を授与されました。

ポール・ハリスは新聞記者、教師、俳優、カウボーイ、大理石などのセールスマンを経て1896年にシカゴに移り、法律事務所をひらきました。

1905年2月23日ポール・ハリスは三人の実業家、石炭商のシルベスター・シール、鋳山技師のガスターバス・ローア、仕立て屋商のハイラム・ショーレと共に集まり、最初のクラブをシカゴで創始しました。会員が各自の事務所を巡回(rotation)して会合を開いたことから「ロータリー」と名付けられました。ポールは間もなく、このロータリー・クラブが重要な奉仕運動へと発展していくことを確信し、他の都市にまで拡大しようと思いました。

ポールは他の市民活動や職業活動においても、顕著な業績を残し、米国の身体障害をもつ児童と成人のための全国イースター・シール協会、身体障害児のための国際協会の初代理事長を務めました。またシカゴ弁護士協会の理事、ハーグ国際法律大会代表、米弁護士協会委員も務めたほか、青少年へのすぐれた奉仕から、

ボーイ・スカウト・オブ・アメリカからシルバー・バッファロー章を、またブラジル、チリ、ドミニカ、エクアドル、フランス、ペルーなど各国からも勲章が贈られました。

その後、名誉会長だったポール・ハリスが1947年1月27日に亡くなったときには、4人の非公式会合は、約6,000のクラブにまで発展しており、奉仕と親睦というポールのビジョンをとおして集まった人は現在120万人、27,000以上のクラブにまで発展してきたのであります。(CD4-924JAより)

ロータリーMINI情報(青野情報委員)

『職業分類について』

ロータリーには、一業種一人の原則があります。これを具体的に表しているのが(職業分類表)です。

職業分類委員会は、職業分類ならびに会員の身分を扱う重要な委員会です。

当クラブ定款の約1/3は会員身分及び職業分類に関係のあることで費やされています。

現在当クラブ会員の42%はシニア・アクティブ会員ですが、3年前には約18%でした。シニア・アクティブ会員の割合は東京RCが66%、東RC 65%、西RC 58%、南RC 64%、北RC 56%となっています。(1993年7月調査時)。

今後は当クラブもシニア・アクティブ会員が増加するでしょう。

お知らせ

・会員役職変更

小杉真史君〔株〕富士通ビジネスシステム〕

取締役副社長に就任

開発英基君〔富士ゼロックス(株)〕

常勤監査役に就任

・他クラブ例会臨時変更

東京西北RC 2/10(月) → 休会

東京中央RC 2/13(木) → 合同例会

東京みなとRC 2/18(火) → 移動例会

・2580地区地区大会

3月14日(金) 15日(土) 東京国際フォーラム

登録料 会員/12,000円、家族/8,000円

(ホストクラブ) 東京田無RC

東京新南ロータリークラブ

会長：河原勢自 副会長：保森 登 幹事：荒木昭文

〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日 12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

〈会報委員〉

山下 忠治、大村 富俊、伊部 和夫、

大日方 真、柴藤清三郎、相澤 成憲、

島田 昌雄、村山 公士、川鍋 二郎、

関 征春、宮本 正祥、岩瀬 秀郎

(編集担当順)